

一般社団法人 日本知的障害者チアリーダーディング協会

2022 年度 事業報告書

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

I 組織運営と事業報告

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響の現象により、計画した事業の再開や新たな事業の開催を実現することができました。

情報収集、他分野との関係構築を進めた成果をもとに、持続可能な活動へ移行するため、次年度へ向けた事業・運営の再検討を進めていきます。

II 2022 年度計画に定めた事業

講習会やその他の活動で広がったネットワークを活用しながら、新たな事業を実現することが出来たため、次年度以降の事業がより良い内容となるよう、検証を行っていきます。

<競技>

1. 知的障害者チアリーダーディング競技を周知する活動

(1) 知的障害者チアリーダーディング競技に関する情報・競技規定の制定

本年度は実施事業も増え、また開催が継続されたため、活動の情報を発信することが多く出来ました。競技規定の制定については、加盟登録団体・従事者を増やしながら検討する内容もあるため、引き続き継続的に審議してまいります。

(2) 初級指導者講習会の継続開催と、中級指導者講習会の開催

中級指導者講習会を今年度はじめて 6 月に開催いたしました。座学と実技を交え、実践的に学ぶ場を提供することができました。

初級指導者講習会については、今年度も継続的に実施することができましたが、エリアの拡大には課題も多く、次年度以降の課題となっております。

(3) 各種講習会の実施準備、開催エリア・方法の選定

各地のチーム活動や各チームの取り組み状況を把握するための会員登録（団体・個人）が伸び悩んでおり、各地に指導者を増やしていくことを課題としています。オンラインでも情報交換や交流ができる環境の整備に向けて、課題の整理を進めていきます。

(4) 知的障害者チアリーディング競技認知度の拡大

体験会を共催した流通経済大学に機会提供をいただき、以下の機会にて知的障害者チアリーディングを知っていただく機会を設けることができました。

2022年7月 流通経済大学様主催のイベント「海の日アートフェス」

…加盟登録団体が出演

2022年10月 流通経済大学様主催のイベント流経大×松戸市「地域共生シンポジウム」

…加盟団体が出演・代表理事がシンポジウム登壇

2023年1月 BS-TBS「Style2030 賢者が映す未来」放映

2023年3月 ID CHEER Festival 開催

…知的障害児・者を含むチーム、加盟登録団体チーム、ゲストチーム、全10チーム出演

(5) 関係団体との情報共有や連携

発達障害白書2023年版(日本発達障害連盟編)の「時の話題」として、活動についてご紹介させていただきました。

<普及>

2. レクリエーション・余暇としてのプログラム作成

(1) チアリーディング競技団体以外の団体へのアプローチ開始

2022年10月8日(土)に有明アリーナで行われた「チャレスポ! TOKYO」など、パラスポーツのイベントにて、加盟登録団体演技披露や体験会をさせていただきました。

(2) 知的障害者のスポーツ活動、レクリエーション・余暇活動での体験会の実施

流通経済大学と協働で知的障害者チアリーディング体験会(千葉)を2022年6月から3月まで実施させていただきました。松戸市以外の遠方からお越しになられる参加者もあり、各地で、定期的に開催することの必要性を感じ、継続開催とエリア拡大が次年度以降の課題となりました。

(3) 普及プログラムの拡大

今年度は初めて体験会を行ったこともあり、プログラム化までは到達できませんでしたが、今年度の経験をもとに次年度以降、資格保有者が各地で活躍できるようプログラム化を進めてまいります。

<事務局>

3. ガバナンスコードに則した組織体制の検討と整備

(1) 組織運営に関するスタッフ増員、人材発掘及び育成に関する体制の充実

講習会の実施や事業のエリア拡大についてのスタッフが課題となり、次年度以降に協力してくれる人材を発掘するため、ボランティア募集のポータルサイトへの登録等を進めた。活動を知り、共感して参加いただくためにも、HP や SNS を有効に活用して発信していきたい。

(2) 財務の健全性確保に関する計画の実行

事業の実施、運営に係る資金確保のため、事業収益確保について収支についての検証を進めています。